



セフレと...2

憧れの上司がセックスフレンド

村夫子

年上の〇LとエッチしまくるCG集



憧れの上司
あんな人がセフレになったら良いなと
募集してみたら
本人が来ちゃった!!??

※実際の本編とはモザイク処理が異なります



なかばやけ気味にエッチしちゃった!

良いのよー!
上司マコに申出し
してっつっつっ!
部下の精子でいっぱい
にしてええええっ!

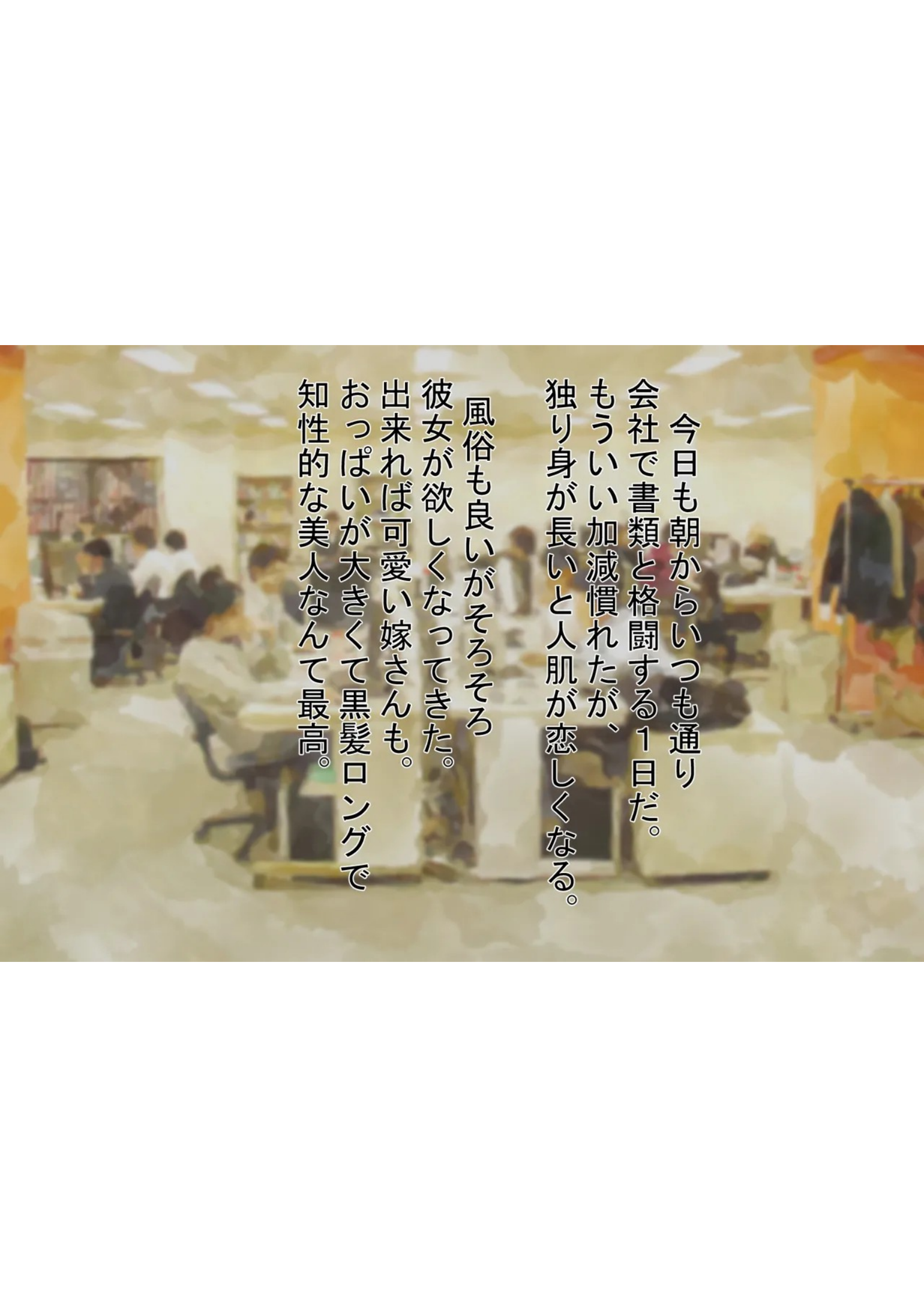
アナルも初体験!

そしてセフレになっちゃった…!

村夫子

セフレと……2

憧れの上司がセックスフレンド



今日も朝からいつも通り
会社で書類と格闘する1日だ。
もういい加減慣れたが、
独り身が長いと人肌が恋しくなる。

風俗も良いがそろそろ
彼女が欲しくなってきた。
出来れば可愛い嫁さんも。
おっぱいが大きくて黒髪ロングで
知性的な美人なんて最高。

おっはよう
ございませす!

可奈ちゃんお早う
相変わらず元気だな。

えへへ、
まーかしてください!

コイツは同僚の可奈ちゃん。俺の後輩だ。
ご覧の通り明るくて人当たりが良い、おっばいもでかい。
入社当初から数多の男が口説きにかかったが全滅、
そんな男どもを尻目に半年後に余所の会社の男と結婚した。
相手は大学時代から付き合っていた彼氏だそうだ。
羨ましいぞチクシヨウめ。



主任お早う御座います。
これですか？
あゝ、はい！大丈夫です

可奈ちゃんお早う、
今日はこれをお願い。大丈夫？

主任、
お早う御座います。

お早う、
何かくたびれてるわね、
大丈夫？

俺の上司、水樹彩乃。
黒髪ロングで巨乳で知的。
まさに俺のストライクゾーンど真ん中。
頭脳明晰で気もきくし料理も美味いらしい。
人間的にも憧れの人だ。
彼氏がいるそうだが、いなければ
もう間違いなく一番にアタックをかける。



大丈夫です、
ちよつと人生に疲れたか
なつてくらいです。

なあに、
彼女でも欲しいの？

いきなり核心を
つかんでください…

あはは、
まあそんなところです。





さ、仕事に
かかりましょう。

はい

君、良い意味でいい人だから
すぐに良い人見つけられるわよきつと

ありがとうございます。

人肌恋しさに思い切ってセフレを作ることにした。
SNSで裏アカアカウントを作って
適当に検索しながら募集してみる。

「こんなので簡単に見つかるようなら苦労しないし、
危険もある。」

美人局や病気持ちなんかに当たらないように慎重に。

ヤバくなったら即逃げる。

さらに出会い系サイトも使ってみる。

こういう所もいい話をあまり聞かないがダメもとで。

ヤバくなったら即逃げる。

ホントにこんなので出来るのかねえ…

お、なんか好みの女が来た！

「カラフル」さん、黒髪ロング、身長なんかも理想通りで
おっぱいもそこそこでかいな、
割と近くで会えそうだし

ダメもとでアプローチしてみよう。

.....

OKが来たよ……

ええと、今度の土曜日に
待ち合わせすることになった！

ひゃっほい！

と浮かれてる場合じゃ無い、
美人局の類いかもしれんから慎重にしよう。
ヤバくなったら即逃げる！

さて、そろそろ指定の時間だ。

周囲に怪しい人影は無し、

今の所サシで会うことになりそうだが

周囲の警戒は怠らないようにしよう。

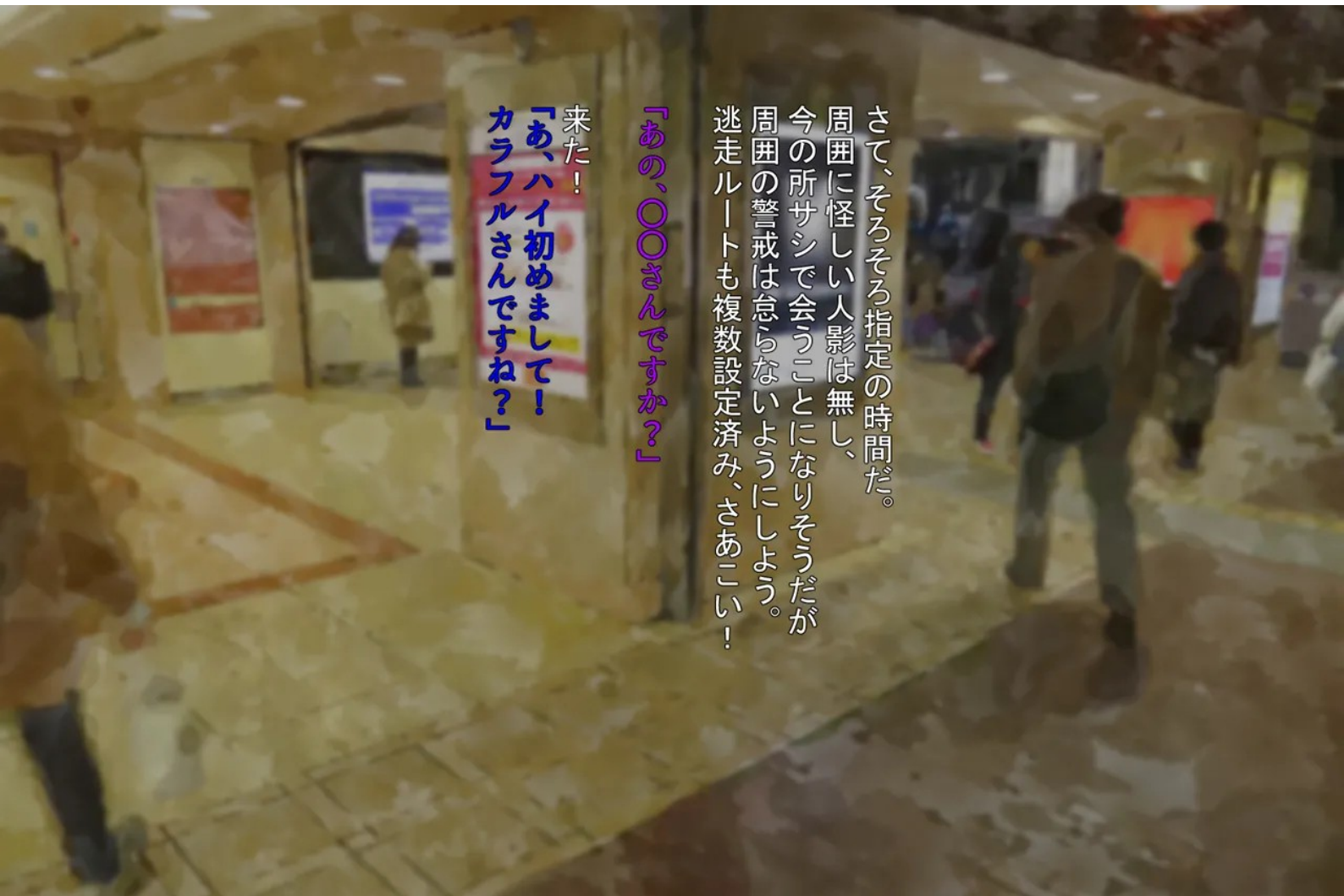
逃走ルートも複数設定済み、さあこい！

「あの、〇〇さんですか？」

来た！

「あ、ハイ初めまして！

カラフルさんですね？」



そこには主任に似た
黒髪ロングの美人がいた、

……君?!

ホント主任だ……

しゅ、主任?!

あまりのことに思考停止して
双方固まってしまった。
ええと、これはヤバイことなのか
どうするべきなのか
逃げるのも違う気がするし
あわわわわわわ

あ、もしかしてドッキリか?
そうなのか?
周囲に目をやると見たこと
ある人影が……いた!





可奈ちゃん、とあれは旦那さんだ、
結婚式の時に見て以来だ
仲よさそうだなあ……じゃない！
マズイマズイぞ……！！



すいません、
とりあえず緊急避難です！

ちよつと……！

とりあえず主任の
腕をつかんで走り出した

とりあえず人気の無いところをと走ったら
当初行くつもりだったラブホについ入ってしまった。

ふたりとも息を切らしていた。

ひとまずここならゆっくりと話が出る。
一体どういふことなのかと。

ええと、
主任セフレ募集してたんですね

……ええ、そうよ！ 悪い？
君こそ勢いに任せて
こんな所に私を引っ張り込んで

いや悪くないと思いますし
(倫理的にはともかく)
俺もそうですし、
ここに来ちゃったのは
その通り勢いですが。



……しましよ

え？

セックスしましよ！
そのために来たんでしよ？

そりやそうですけど
俺で良いんですか？

まあ、何処の誰とも
全く知らない相手より
安心出来るわ
それとも君は私みたいなのば
おばさんはイヤ？

いえいえ、そんなことは
(むしろ大歓迎だけ)

主任が服を脱いでいく。
覚悟を決めたせいか
良い脱ぎっぷりだ、
ていうか俺も脱ごう。



想像していたとおり良いおっぱいだ、
身体も良く締まっている。
とても俺より年上には見えない。

私はシャワー浴びてきたけど君は？

あ、俺も浴びてきました！

じゃあ、その、良いわよ……

ほんとに良いんですね？

良いわよ、
君こそ本当に私で良いの？

もちろんです！

と言い終わる前に
ベッドに押し倒した



あん、もう乱暴なのね

す、すみません

世キ

世キ

ドキ

何度もあこがれた肉体が
全裸で目の前に横たわっている。
まるで夢のようだ。
夢なら覚めないで欲しい。



あんまり見つめないで、
ちよつと恥ずかしいわ。

だって主任の身体、
すごく綺麗なんで

ドキ

ドキ

ドキ

やだ……
寝めたって何も出ないわよ



君のおちんちん凄く立派ね。
期待しちゃうわ。

そ、そうですか？
有り難うございます。

それじゃ挿れますね……

うん、来て……

ビクンッ
ビクンッ



うふんんんっ!
んんんんんっ!

ズブリッ

じゅわん

つ、遂に憧れの主任とセックス!
彼女の奥へと突き進んでいく。



ああ、いいわあ……
君のおちんちん良い……っ

キユンッ♡

キユンッ♡

主任のおまんこも良いですっ!
心地の良い締めまり具合が最高です!

うれしい
きてえ、動いてえ……

ピクッ

ドクッ



ああ、いいっ
ズンズン来て、いいっ……!

あああんっ
君のおちんちんが私のオマンコ
えぐってるう……!!

おちんちんっ
♡

おちんちんっ
♡

ズ
ブ
♡

ズ
ブ
♡

ぐ
ち
ぐ
ち



気持ちいい、
きもちいいっ……っ！

はあ、はあっ
んっ、んっ！

ぐちゅ♡

ずぶっ♡
ぐちゅ♡

もっとお
もっと激しくしてえ……っ！



じゃあ主任!
いきますよっ!

んあああああああっ!
いいっ
いいっ!

もっど!
もっどおおお
おおっっっ!!

パン
ズグ
ズグ
ズグ

主任、すみませんっ！
俺もう出そうですっ！
主任の良すぎですっつ！

良いわよ！
来て！

ぐいほっ
♡

ぐちゅ
♡

ずぶ
♡

良いんですね？
中に出して良いんですね！？

良いのよ！
上司マンコに中出し
してっつっつ！
部下の精子でいっぱい
にしてええええっ！

キョッ
♡

キョッ
♡

♡





うおおおおお
おつつつつつ!

あああああ
ああつつつつ!

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

ビュル
ビュル
ビュル

ビ

ルル
ルル
ルル



ピクッ♡

ピクッ♡
ピクッ♡

ゴクンッ

ゴクンッ

ゴクンッ

ビュルッ

うんうん

ああ……
まだ出てる……
部下の精子が私の中に
いっぱい……っ!



すごいわね、君のおちんちん。
久し振りに思いつきりイツちやったわ

ぐちゃ

ぬちゃ

主任のオマンコもスゴイです。
俺も少し耐久力があると
思ってたんですが。

うふふ
私たち身体の相性は良いみたいね

はあ
はあ
はあ
はあ



ところでほんとに中に出して
良かったんですか？

もう、
何の準備もせずにセフレ作りになんて
来ないわよ。

しゅっ

しゅっ…



それに出来ちゃったとしても
君に責任負わせるようなことは
しないから安心して。

それでも、
俺やっぱり……

「もう、心配性ね。避妊具着けているから大丈夫よ」

「ええと、女性用コンドームみたいなの？」

「そういうのもあるけどあれは避妊効果あまり高くないのよ。

私が使っているのは子宮内避妊具、IUDっていうものよ」

「そういうのがあるんですか、ピルは使わないんですか？」

「ピルは副作用があるから敬遠してるの、仕事に差し支えるのよね」

「そんなに不安ならお尻でしてみる？」

「え？ 興味はありますけど、大丈夫ですか？」

「大丈夫よ、もしもの為にちゃんと洗ってきたのよ」

「準備万端ですか、さすがですね」

「うふふ」



幻滅した？

そんなこと無いです
俺もたいがいエッチですから。

それとその、
名前で呼んでくれるかしら？

え、じゃあ彩乃さん？

「さん」も無しで……

それにしても主任がこんなに
エッチな人だとは思いませんでした。



うん、来て……
生チンポをお尻に入れて……

じゃ、じゃあ彩乃
入れるよ、お尻に……

ドキ
ドキ
♡
♡

グ
グ
ツ

ヒクッ

ヒクッ



だ、大丈夫よ……!!
思ってたより、平気っっ!

?
もしかして初めて……?

そ、そうよ……っ!
本物は初めてよ……っ!

ピクッ
ッ

プル
プル

彩乃、
大丈夫?



うんっ♡

はぁ♡

わ、私っ
興味あったのに
彼氏が、ダメだって……っ！

彼氏という単語を聞いて急に
嫉妬心が湧いてきた。

ぐちゅ

じゃあお尻はもう俺専用にする！
いいよね！

ぐちゅ

い、良いわよ！
私のアナルは君専用よ……！



おんっ♡

おんっ♡

い、痛くない？

す、少し痛いけど……っ！
大丈夫よ！

気にしない……で、
す、好きだから
お尻、お犯して……っっっっ！

じゅぽ

じゅぽ

ズリユツ



ひっ♡

うん♡

あ♡

あぁっいいっ!!
ひいいっ!!
うふうっ!!

スト
じゅぽ
パ

おなかの中ぐちゅ
ぐちゅになつて
きもちいいいい
いいいいっっっ!!



うううううう
うううううう

ド

ド

ユ

ル

ハ

グ

ハ

ハ

ハ
ユ
ハ

ひいひいひいひい
いいいいいい
あつあつあつあつ
あつあつあつあつ



まだ中でドクンドクンいってる
すてきい……

ああ……
イツちやった……
アナルバーজন喪失でイツちやった……

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

ゴクン

ゴクン

ゴクン

ゴクン

ピクッ

ピクッ

ピクッ



もう、やだあ

はあはあ、
お、お尻の穴、だらしなく
ひらいちゃってるぞ

あんっ

ぬほんっ

ブルッ

ピクッ

ピクッ



す、すごく良かったから気にしないで。
素敵な初体験だったわ、
ありがとう……

ハア♡

ハア♡

ハア♡
ハア♡

オロオ……

はあはあはあ
ごめん、気持ち良すぎて
優しく出来なかった

どうだった？
私のとセックス。

そりゃあ最高でした。
主任とこんな事したいと
思っていましたから。

まあ、
普段私のことそんな
目で見てたのね



す、すみません……

うふふ、もう良いわよ。
今日会えたのが君で良かったわ。
久しぶりのエッチ気持ち良かったし。



久し振りって彼氏とは？

振られちゃった

え？
ホントですか？

ホントよ

笑ってるけど内心辛いだろうに
それで今日はヤケだったのかな？
にしてもこんないい女を振るなんて
見る目の無い男がいたモンだ。



そして勢いに任せて君と
エッチしちゃったし。
どう？

どうって、
さっきも言ったとおり最高でした。




そうじゃなくて、
ほんとにセフレになっちゃう？

そりゃあもう喜んで
よろしくお願いします。



うん、こちうこそ
よろしくね

こうして俺と主任は
セックスフレンドになったのであった。



夢のような週末から
また月曜日、尊い労働の始まりだ

それにしても
先週末の多幸感がまだ残っている。
主任とやっちゃったんだよなあ……

また今週末にでも呼んで
ぐふふ



何だとは
ご挨拶ですねー

どうしたんです？
ニヤニヤして

うわわわわっ
びっくりした！
なんだ可奈ちゃんか

ん？
可奈ちゃんこそ
何か幸せそうだな

えへへ、
わかります？
土曜日に旦那が
出張から帰ってきたんですよ！

そして土日は子作り
三昧だったんです！

おお、そりゃよかったな
(あのとき見たのは迎えに
行っていたんだな)

そうか、って
こんな所で
言うんじゃないよ！





あ、主任
おはようございます

可奈ちゃん、声が大きいわよ

おはよう



あ、はい

おはよう。
ちよつといいかしら？

主任、お早う御座います。

誰も使っていない会議室に
連れて来られた。

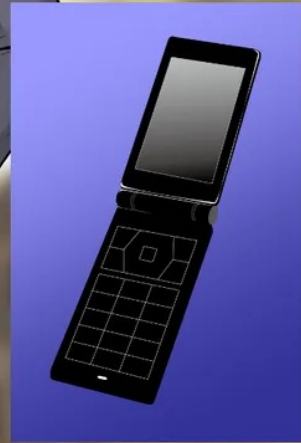
これ、渡しとくわ。

懐かしいガラケーを渡された。

これは？

私たち専用の連絡に使うの。
電話番号もメールアドレスも
お互いのしか登録していないわ。

そしてこれは原則として持ち出さないこと
家に置いておいて、その
エッチする時に呼び出すだけに使うのよ。
会社などで連絡し合うのは危険だから。



慎重ですね。

そりゃセフレ同士の関係なんて
ばれたらマズイし……

主任ともなれば当然だよな。

わかりました、
これはそうします。





その、セフレで会う時は
名前呼びで敬語も無しにしてもらえると
その、いいんだけど……

それともうひとつ

なんです？

いいですけど
そりやまたなんで？

んと、
そういうときは
対等でいたいので……

変かしら？

主任らしいなあ

いや、そんなこと無いです
承知しました。



こうして彩乃との秘密の関係が動き出した。

と、言いたいところだが

仕事がこんな時に嵐のように押し寄せ、
会ってエッチをするどころじゃなくなっていた。

3週間で嵐はやっと過ぎ去り

金曜日に帰ると倒れ込んでしまった。

明日は久し振りの休みだ。

まだ一度も使っていない渡されたガラケーを持ち、

彩乃も疲れているだろうけど

ダメもとで明日会いたいとメールを打って送信した。

数分後返事が来た

OKだ

時間と待ち合わせ場所を決めて

今日はもう寝る。

明日に備えて回復させるぞ！

約束の時間より10分ほど早く待ち合わせ場所に到着するとすでに彩乃が待っていた。

もう来てたのか
待たせちゃった？

ううん、
私も1分ほど前に来たところよ。





ええ

じゃあ早速だけと行こうか

腕を組んでラブホへと向かった

ラブホに着いて部屋に入ると
俺は彩乃を抱きしめてキスをした。
彩乃も抵抗しなかった。
舌を絡め、お互いの身体をまさぐり
服を脱がしていく



もう、せっかちなね

3週間もお預け食らって
いたんだから
こうもなるさ

うふふ、
じゃあ今日は私から
してあげないとね

そう笑うと彩乃は俺を
ベッドに押し倒した。

うふふ
オチンチンだー

君のオチンチン
私大好きよ

彩乃は嬉しそうにチンチンを
いじりだした。


ううむ、
普段の主任からは想像出来ない
このギャップ
嫌いじゃない



彩乃はおチンチン好きだな

女ですもの
おチンチン好きなのは正常よ

特に自分にジャストフィットするのは
だーい好きなのよ



あ、ごめんなさい
調子に乗っちゃった
引いちゃったでしょ？

そんなこと無いよ
彩乃の普段見られない一面が
見られて嬉しいよ。

もう、ばか……



彩乃は口の中で亀頭をなめ回してくる
そしてカリ裏に沿うように舌を這わせる。
背中がぞくぞくしてくる。

うむ、ちゅ、うん
うん、うん、うん……

はく

ちゅ、
ちゅ、♡

ちよ、彩乃、出ちゃうよ……っ！



頭を動かしながら
亀頭にさらなる刺激を加えてくる。

ん、らめよ
まららまんしへ
(ん、ダメよ。まだ我慢して)

むう、うん、うううん
んちゆうん、んんん……

むちゅ♡

くちゅ♡



おいしいっ

ふん、うん
んん んん んん

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

んちゅ♡



彩乃、いいぞ……っ！
凄く良い……っ！

ぐいほっ♡

ちゅぽっ！ちゅぽっ！
うぼっちゅちゅっ

うれひい
もっろひもひよふらっつ
(嬉しい、もっと気持ち良くなって)

ちゅぽっ♡

じゅぽっ♡

くっくっくっ
もうそろそろ限界だ！

ずいかにゅっ♡

出すぞっくっくっ！
彩乃の口に出すぞっ！

それを聴いて彩乃は
さらに激しくしごいてくる。

じゅぽっ♡
くちゅっ♡

じゅぽっ♡

じゅぽっ♡





うおおおおお
おおっっっっっ!!

んんんんん
っ!!

キョッ
ゴッ
キョッ
ゴッ

キョッ
ゴッ
キョッ
ゴッ



彩乃の口の中にドクドクと
ザーメンが注ぎ込まれていく

んんっ
んんっ
んんっ

うんんんんん……

ダクダク
ダクダク



ゴクンゴクンツ
うんんんんん...

んんん...

すごく良かったよ...

ゴクン
ゴクン
ゴクン

ハアハアハアハア.....
彩乃、飲んでくれたんだ.....

んふっ
ザーメンって変な味ね

え、
飲んだこと無かったの？

そうよ
実はフェラチオも初めて
今までさせてくれなかったの

付き合ってた彼氏は
どんな奴だったんだか……

喜んでもらえた
みたいで嬉しいわ





ああ、
今夜はタッププリしような

うふっ
まだまだ硬いわね
すぐできそう

うふふ
楽しみ

彩乃はそのまま俺の上に這うように覆い被さってきた
キスをしようとすると躊躇して

「キスして良い？」
と聞いてきた。

「良いよ、彼氏はチンコ加えた口で
キスされるのがイヤだったのか？」

「うん、そうみたい」

そう言う彩乃は少し悲しそうだった。
そんな彩乃に俺の方から唇を重ねる。

「あん……………」

お互い舌を絡め唾液を交換し混ぜ合う。
彩乃の顔が熱くなってくるのを感じる。

「挿れちゃうね……………」

十分に濡れそぼった膣穴に
俺の亀頭がめり込んでいく。

んん……
オチンチンが入ってくるう……
どう……？

そ、そんなにゆっくり沈まされると
暴発しちゃうぞ……っ！

だめよお……
今度は私を気持ち
良くして欲しいの……

ず
ぬ
ぬ
ぬ、

彩乃って少しSっ気があるのかな……？



んんん、
はいっちやったあ……

彩乃のオマンコも良いよ
ヌルヌルでザラザラで……

にちやっ♡

あん♡♡

はん♡♡

やっぱりいいわあ
このオチンチン……

ああん、
嬉しい……

ちゅ
ふっ

奥まで到達すると
彩乃の身体がブルツと震える。



動くぞお

ピクッ

ピクッ

あんっ♡

はあんっ♡

あ、はああんっ!
ああ、いい……っ!

ピクッ

ああん、
だめえ
私が動くのお……っ



かまわず下から突き上げ始める。

ああんっ、あっ！
だめっ！
ダメだっばあ……んっっ！

じゃあやめるかっ？

いやんっ
もうっ……っ！
いっじわるっ！

ぐわっ
ズッ

は
んっ♡

ああんっ♡
ああんっ♡



はああああ…んんっ、
んふうう…
ああん、あああっ

いいよお
君のおちん。ちん
私の、一番、気持ちいいところに
しっかり当たるのお……っ！

彩乃の、オマンコも、
俺の気持ちいいところを
しごきこんで、くるっ……っ！



こ、こんなのツツ
が、我慢でき、なく
なっちやうツツツツツ!

今は、我慢しなくて良い、んだぜ
俺も我慢、しないぞ!
彩乃の身体をつ
む、むさぼりたいっ!!!!!!

んんんんんっ
ふうううんっ
き、君と、あ、相性っ
よ、良すぎっつっつ!

びしょびしょ

いいよっ!
好きなだけ、
私の身体使ってツツツ!!!!!!



ふうあああああつっ
きちやうつっつっつ！
おちんちんからでてるっ
私の中に出てるツツツツツツツツツ！

あふいいいいツツ！
ぐあああああ
ああつっつっ
あああああつ！

アハハハ

アハハハ



あああああああつっ……っ
わ、私の中に……いっ……っ
広がってくる、よお……

気持ちいい……っ！
すてき……っ！

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡
♡



ハアハアハアハア
搾り取られた気分だ

ごめんなさい
また調子に乗っちゃったみたい

そんなことないよ
俺もこれくらいが良い感じだよ

本当？
嬉しい……



……まだ硬いね

言つたら？
今夜はタツプリするって

キシゅんっ♡

えっちな、もう……

じゃあやめるか？

もう、
いじわる……

この夜は結局一晩中エッチしまくった。

ほぼ徹夜明けでお互いくたびれつつも満足した顔で朝を迎えた。

近くのファミレスで朝食をとり軽く雑談してその日は別れた。

次に会う約束は取り付けなかったがまた週末に誘ってみようと思う。

じゃあこれを引き続き頼む

わかりました！

またいつもの日常を向かえていた。
なんか支社であつたらしく、
少し慌ただしい空気だ。
でも俺は俺の仕事をするだけだ。





はい

はい

ちよっと良い？
あ、可奈ちゃんも



あ、私パスです。

そこで君か可奈ちゃんと一緒に出張に
来て欲しいんだけどどうかしら？
こっちの仕事もあるから無理強いはしないわ。

聞いているかも知れないけど支社で
ちよっと問題があつて、その対応で
私と課長が出張する筈だったんだけど
課長が本社業務関連で行けなくなっちゃったの。

そうですか



いえ、ちょっと検査です。

私、ちょっと病院にいかないと
いけないかもしれないんで

え、どこか具合でも悪いのか？

何で？

そう、じゃあ来てくれる？

そうですね、
了解しました。
いつからです？

早速で悪いけど明日から10日の予定よ。
状況次第で伸びる可能性もあるわ。

わかりました、
可奈ちゃんは当面係長の
指示で動いてくれ。

了解です





主任、最近彼氏と
別れちゃったそうだから
口説くならこの機会を
逃す手は無いです！

チャンスですよ！

ちょ、いきなりなんだ？



オマエハナニライッテルンダ

そうですか？
主任を見る目が違うから
てつきり狙っているのかと

バカな事言っでないで
仕事に戻れ！

はあゝい

女の勤は恐ろしいなあ……

てなわけです。翌日から出張と相成った。
予定では10日間、彩乃と
二人っきりで旅行だわっほい！



なんて幻想は到着早々打ち砕かれた。
とにかく問題案件山積みで
来る日も来る日も忙しく走り回る日々が続いた。

彩乃も本社の主任として
懸命に働いていた。
俺はそれをサポートする役回り
で全力で働いていた。



にしても働く彩乃はカッコイイし美しいなあ
小柄な筈なんだけどとても大きく見える。
これが人間の器のでかさってヤツかあ

そしてこの美しい身体をむさぼっていた
なんて何とも言えない優越感がある。

あ、おいてめえ
彩乃のおっぱいをガン見するんじゃないぞ！
俺の独占物だぞ！

そっちのお前！ その尻は俺だけのモンだぞ！

ああ、イカン。
仕事中だというのは
くだらん嫉妬心が出てきてしまっ



ということなんですが

そうですね、
その確認は彼に行ってもらいましょう
良いわね？

あ、はい
了解です。
行ってきます。

初めての場所だし
葉子ちゃんに案内してもらおう

おーい、葉子ちゃん



おおっ、
地味ながらかわいいコじゃないか
おっぱいもおっきいし
てかなんだその胸元は？
誘ってるのか
そうなのか？

はい、承知しました。

彼をあそこに案内してくれ

はい
お呼びですか？



眉間のしわはエッチの時だけにしてくれませんか？

あ、彩乃さん
その顔なんですか？
怖いです。



彩乃の視線が怖い痛い……

あ、はいはい

ご案内します
こちらです

その日の仕事自体は
無事にこなせた物の
彩乃の態度の硬化は辛かった……

そんなに鼻の下伸ばしてたかなあ
たかがセフレにと思ったけど
俺も彩乃に群がる視線に対して
同じような顔していたかも知れない

泊まっているビジネスホテルの部屋で
そんなことを考えながらシャワーを浴び、
浴衣に着替えて冷蔵庫のビールを取り出す。

……

やっぱり謝ってこよう
何をと言われても困るが
謝らなきゃいけないだろう

冷蔵庫にビールを戻し
着替えようとしたらノックが聞こえた。

ドアを開けると彩乃がいた。

あ、こんな時間にご免なさい
ちよつといいかしら？

あ、いや大丈夫です。
俺もちょうど主任のところに行こうと
思ってたんで





そう、なんだ……


そんなところで立ち話も何なので
入ってください。

お、お邪魔するわね。

で、ご用件は……？

その、謝りたいと思って
イヤな女だと思ったでしょ……？
セフレ相手に変な顔してたでしょ？

いや、それは俺も同じです。
俺だってその、変な顔してたし……



私なんてただのセフレなんだから
気にしないで良いわよ
その、迷惑でしょ？
あの、葉子ちゃん可愛かったし、若いし……

あのさ、彩乃！

あ、ご免なさい
私ったらまた……

いや、俺の方こそゴメン
ええと、ほらきつと
ここしばらく忙しかったせいで
たまってるんだよ！

たまってるって……



いいかな...?

あ...

+クン



いい……
わよ……
セフレなんだし……

彩乃を抱きしめてキスをする。
彩乃も応えて舌を絡めてくる。
身体をまさぐっていき、尻の方に手を伸ばすと違和感が……

「パンツ、はいてないのか？」

彩乃は顔を熱くして俯く

「いけない人だな」

「……いや？」

「良いに來まってるんだろ！」

「あんっ」



アンツ
ええ、そうよ！
き、君こそスーツを着た私を
こ、こんな風に
犯し、たかったんでしょ……っ！

すちゅっ

ズリッ

うあっ
君の、熱い視線に
気づかないと思った？

あ、っ♡

あ、っ♡

はあ、っ♡



その通りだよ！
この出張、こつとなるの
楽しみにしてたんだ！

わ、私だって
楽しみにして
たんだからっ！



この淫乱め!
目一杯犯してやる!

犯してっ!
スケベ男さん!!

アウッ♡

アッ♡♡

アッ♡♡
アッ♡♡
アッ♡♡

スッ♡
スッ♡



ああんっ……あふうんっ
あうんっ……くふうっ

これよ！
このオチンチンが
欲しかったのおっ！

もっどー！
もっどおおおっ！

おあんっ♡

アッ♡
アッ♡



俺もイクぞっ
中に出すぞっ!

出してっっ!
君のザーメン中にぶち
込んでえええええっっ!



あああああああああっ
イクッ、イクッちやってるうううっ！
中出しされながらイクてるっっっ！

うおおおおおおっ

あっ♡

あっ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

キョッ
キョッ



と、とまじらへっ！

ああスゴイっ
また射精してるっツツツッ！
ああああっ！



はあはあ...
凄かったわ...

ごめん、何か乱暴して

気にしないで。
私もちよつとまた
調子に乗っちゃったみたい

あん♡

はあ♡

きゅん♡

きゅん♡



あ、また大きくなってきたわね

あ、

明日も仕事あるけど
いい？

あっ♡

ムクッ
ムクッ



んもう、
あと一回だけよ

きゅんっ♡

はあ...♡

わかった

ヌチユ
ヌチユッ

その夜は約束通りもう一回だけセックスして
彩乃は自分の部屋に戻っていった。

何となくだが安心した。

明日もまだ忙しいだろうけど

もう何があっても大丈夫だという自信がついた

何の自信なんだろう？



葉子ちゃんとも仕事したけど
もう彩乃から変な目で見られることも無かったし
俺も何ら心が動くことは無かった。

予想通り次の日から慌ただしい日々が続いた。
彩乃は本社の主任として、俺はそのサポート役として
息の合った仕事が出来たと思う。

夜になれば
彩乃は俺の部屋を尋ねてきて
お互いをむさぼり合った。

わざわざ尋ねてきて
イケナイ主任さんだな

君だって欲しかった
んでしょ……？
オチンチンそんなに
ギンギンにして

あん♡

はあ……♡

ああ、
もう10分来なかったら
こっちから襲いに
行っていたところだよ

キュン♡

キュン♡

チユ:

ヌチユツ



ああん
うんんんんん……

ああん♡

はん♡

ピクッ

ピクッ

ズヌヌッ

ズリユ……

もう……
焦らさないで
一気に入れてえ……

君のどすけべチンコ
奥まで欲しいの……っ！



アウウツ、くふうっ、ふっ
うううんっ

ああん♡

おんっ♡

はっ♡

アムン

じゅ
ぱり
ぱっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ああああん
届いてる、
奥まで届いてるう……っ！



はあっ、んんんっ
いいっ、いいっ

お願いっ
来てっ、もっとおとおおっ
ほしいの、欲しいの……っ!

ヒアツツ!!
うんっ!!

あはっ♡

ピクッ♡

ピクッ♡

ニッ♡

うんっ♡

ピクッ♡

じゅっ♡
ずっ♡
ぶっ♡
ぶっ♡



おちんちんいいっつ……
いいのおっつ!

おん♡
おん♡
はっ♡

あんっ!
ウンツツツ!
あうんっつっ!

……んっ、うんん……
アクツ……くあぁっ!!

ズッ
ズッ
ズッ

グッ
グッ
グッ



ふうふうん……っっ！
あああっっ！ ああんっ

はあんっあっ…… はあっ
んんっ、いいいいっ
もっもっもっ！

ああんっ♡



あひいっ……!!
イツツツツツ!!

イクぞっ……っ!
出すぞっっっ!

来てっ私もっ
イツちやうっっ!
あんっ、ああんっ、おまんこ、
きちやうっっ!! スゴイの……
きちやうっっ!



うあっ!
うおおおおおっっっっ!

はあっあっあっあっ!

あああああっ!.....
オマンコの中でっ、
びゆるびゆる出てっ、るっ!!



はぁ、はぁ、はぁ

出てる、出てる
はぁんっ……っ!

気持ちいい……っ!

あぁん♡

はぁん♡

キーン♡

キーン♡

ドクツツ

ドクツツ

ドクツツ



はあ はあ おんっ♡

あふっ♡

ブルっ♡

ピクッ♡

だろネ……

ぬちゅっ……

あんっっっ！
あふうう……っ！

ああ……っ、おなかの
中に君のザーメン、がっ、
広がって、熱い……



あふん...♡

うん...♡

ハア...

ハア

ハア

くちゅ

くちゅっ

くちゅ

ハア♡

あはあっ、んくっ、
ふう.....んっ
ああん.....
良いよお.....



うふふ、今夜も
いっぱい出たわね

ああ、
明日も頑張らないとな

何を？

仕事もエッチも両方とも！

うふふ、
でも無理しないでね


あん♡♡

キュン♡♡♡

そんな日々も当初予定の10日を延長すること無く
終わることになった。

彩乃と俺とのコンビネーションの賜だったと
自負しているが、もう少し忙しいながらも
甘い日々を過ごしたかった。

名残惜しみつつもお互いの帰路についた。



久し振りの本社は
相変わらずの騒がしさだった。

出張したせいで溜まってしまった仕事を
退治することにする。

おや？

課長と主任のところで可奈ちゃんが何か話している。
何だろ？

お帰りなさい
出張お疲れ様でした！

可奈ちゃんもお疲れ、
係長から良くやってくれたって
褒めてたぞ

えへへ
有り難うございます。

ところで主任と
上手くイキました？

おう！
俺と主任のコンビネーションを
見せてやりたかったぜ。

ぶっぶっぶっ
はぐらかさないでくださいよ



そうそう、
課長と主任に何話してたんだ

えへへ
実は妊娠しました！

お！
そりやおめでとう！
やったな！

有り難うございます！
それで課長と主任に
産休などの話し合いを
してきました。

そっから
可奈ちゃんが
お母さんにかゝ



出張お疲れ様

主任もお疲れ様でした

聞きましたよ
可奈ちゃんが
母親になるって

ええ、
女の幸せ掴んだわね…

彩乃は
ちよつと遠くを見るような目をした
可奈ちゃんが羨ましいんだろうか？



主任は？

そ、そうね……
家庭を持つことを夢見たこともあつたけど
もう長いこと仕事に夢中で
忘れてたわ……

あの、
主任……

さあっ！
仕事にかかりましょう！

あ、はい……

その週の週末、
彩乃を誘った。

彩乃とこの肉欲だけの
関係が続けられるだけ
続けるのも良いかなと
考えていたが、
はてさてどうしたものか……

今回は待たせちゃ悪いと思って
30分早めに現地に到着したら
ほぼ同時に彩乃が来た。

あら、
こんなに早く来たの？

彩乃こそ
まさか前回も…？

だってほら、
相手を待たせちゃ悪いと思って…

まったくこの人は…

んじゃ早速行こうか

ええ！



日が落ちたホテル街を
彩乃と手を組んで歩く。
前回待ち合わせした時より
甘えてきているような気がする。

ラブホの部屋に入ると彩乃から抱きついてきたキスをして舌を絡める。

「んんん、んふうん……」

「あん、ううんん……」

いつも以上に積極的に感じた。

俺も負けじと彩乃を抱きしめる。

服を脱がし始めると彩乃が唇を離した。

「あん、このままで良いのに……」

「だーめ、出張の時スーツ汚して困ったでしょ」

「まあ、そうだけど……」

お互い全裸になって

俺は彩乃をベッドに押し倒した。

しばらくの間ディープキスを続けた

5分なのか30分くらいなのか分からないくらい

長い時間唇と舌を絡ませ続けた。



あんっ♡

ドキドキ♡

キョーンッ♡

ビクッ

ビクッ

彩乃のマンコだって
もうヌルヌルじゃないか

うふふ……
もう君のおちんちん
ビンビンになってる……

いやん、
あんなにキスしていたら
もう……



あはっ♡

キゅんっ♡

キゅんっ♡

もう、
あんなに長いキス初めてよ

人のせいにしないでよ

彩乃が離してくれなかったからな



お……ちんちんっ、
お、奥まで、来てるよお……

くふうっ、ううんっ……
んっっ!

動くよ……

いいよ……
きてえ……っ!

んっ♡

ピクッ

ズッ

グッ

ウッ

ピクッ

んっ♡

ピクッ



んっ♡
んっ♡

んっ♡

ううんっ、
んふっ!!!!

あんっ、いい、いい……っ
もっ、もっとおっ!

びびっ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ



んああああ
ああんっ……ひいっ

あんの
あんの

うあんっ、ああんっ、
あんっ、あんっ、あっつっ！

びびっ

じゅぽっ

じゅぽっ

じゅぽっ



ああっ、イアッ、
ひんっ、あっ！

いいっ！ 奥っ！ おくっっ！
届いてるのっおお！！

アィィィィィ
アィィィィィ

アィィィィィ

フルッッ

ズ
ゴ
ッ

ズ
ゴ
ッ

ズ
ゴ
ッ

ズ
ゴ
ッ

フル
ッ
ッ





あふんつ、きもち、
良かった…あん

クチュ

クチュ…

ドキ

ドキ

はあ♡

はあ♡

ドキ

あん♡

はあ♡

はあ、うん、うん……



最初から飛ばしすぎたか？

大丈夫よ、
これくらいの方が好きなの……

ドキ♡
ドキ♡

くちゅ♡
ピク♡
ピク……

貴方の
うふふ、まだ硬いわね……

ぬちゅ……

抜いやダメよ
今度は私が上になるの……

そう言うと彩乃は繋がったまま
俺を押し倒した。



今度は私が気持ち
良くしてあげるわ……

彩乃……

動こうとしたら
押さえ込まれた。

だめよ、今度は、
わ、私がうごくの……っ

おん♡

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

ぐちゃっ……

ちゅっ……



あうんっ、ああん、
お、おちんちんいい……

いいよ……
奥に当たって気持ちいいの……

あん♡

ん♡

きゅん♡

キゅん♡

きゅん♡

ぬちゅ……

ぬちゅ……



良いぞ、彩乃……ツツツ
スゴイ良い……っ！

ああ、あん、うんっ、
いい…… よおおっ

あん、嬉しい……っ！

はわっ♡

あん♡

ああん♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ



ああん……っ、あんっ、あっ、あっ
いいのっ、気持ちいいっ

貴方のっ、おちんちん、奥につ
ずんずんあたって、る……うっ！



んあああつ、はあつ！

う、はああつ、
んくう…… ううんんん

わっ♡ は♡

ハッ♡

じゅん、じゅん、



ああんっ、ああっ！
いあん！ いっつつっ！

来るのっ、うあんんっ、
オチンチンくるのっ！！

イクッ
ゴッ

ジュッ
グッ

ジュッ
ホッ

ジュッ
グッ

ジュッ
グッ

ジュッ
グッ



彩乃、彩乃、あやのっっっ!!
もうダメだっ、出すぞっ!!!!

ああああああああ
ああっっっ!
きて、きてっっっ!!!!

来ちゃうっっ!
来ちゃうっっ!
スゴイの来るッッッ!



ああん……うああ……
貴方の、ザーメン……
出てるう……

はあ、はあ、はあ
はあ、はあ……



はああんっ、
まだ中でドクンドクンいってる……
気持ちいい……

はあはあ……っ！



ああああんんん...

もう、
貴方のオチンチン良すぎ...

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん..



彩乃、アナル良いか？
結構久し振りだけど
大丈夫か？

うふふ、良いわよ
来て……



彩乃すっかりアナル好きになっちゃったな
ついこの間までアナル処女だったのに

もうバカ……、
貴方のせいよ
責任とってよね

ん・ん・ん

ん・ん・ん

ドキ
ドキ
ドキ



もちろん、俺専用のアナルだからな!

あひいっ
くうっ、ふうっ、んんんっ!

ビッ

ちゅっ...

すっ
ふっ



いいっ、いいわっ、
うんんんっ……!!

相変わらずスゴイ締め付けだ、
気持ちいいぞ……っ!!

う、嬉しい……っ!

動くぞ……

きてえ
お尻の穴犯してえ……っ!

うわっ♡

はっ♡

おっ♡

ブルッ

ピュッ

キユウウッ

キユジ



んふうんっ、うんっ
ぐ、うんっ ふあっ……！

だ、大丈夫だから
お、思いつきり、し、してっっ！



ふはっ、ああっ、
はっ、あっ、あんっ

いいっ！ いいよっ、もっとな
もっとお尻の中
ぐちゃぐちゃにしてっ！

アッ、アッ、アッ、
はっ、はっ、はっ

ピッ、

アッ、アッ、

じゅわん、
じゅわん、
じゅわん、

じゅわん

じゅわん



膣に出した精子があふれ出て
アナルの方に垂れてきた
潤滑をさらに高める。

はあっ！ ふああっ！
んっ、くうっ！
ふはっ、ああっ、はっ、
あっ、あんっ



ああ……でてるう……
もっとお……気持ちいい……っ

ああんっ、あんんっ……
んっ！

ドクッ

ドクッ

フホッ

ブルッ

アッ♡

アッ♡

アッ♡

ブルッ



あぁっ♡

ビクッ♡
ビクッ♡

ひい、ああんっ、
ああ……はああ……

あうっっ!

ぬぽんっ

とろお……

私も、とても良かったわ……
あん……

彩乃のアナル、
すごい良かった



あっ♡

ああん、出てきちゃった……
ごめんなさい……

いやん♡

あっ♡

もう、ばかあ……

良いよ、
とつてもイヤらしいよ

どろろお……

っぽっ



ちん♡

あは♡

彩乃のお尻は良いけど
壊しちゃいけないから
時々するだけにしよう

うふ、そうね
心配してくれて有り難う

きゅん♡



今日も素敵だったわ
ありがとう

俺も良かったよ

うふ
身体の相性は
抜群ね


……
身体だけかな



あ、
そうね

出張の時も
なかなか上手くやれたから
私たち相性良いみたいね

でもそれは上司と部下という
立場があったからかもしれないし……



俺、ずっと彩乃のことが好きでした。
セフレ募集することであきらめようとしたけど
偶然とは言えこんな事になって
その、やっぱり今でも好きです

……

知ってるでしょ？
私って結構嫉妬深いし
すぐ調子に乗るし
めんどくさい女よ

知ってます、
それでも好きなんです



ホッ♡

かあぁ♡

そりゃあ私だって貴方のこと
……好きよ
優秀な部下だし
優しいし
エッチ上手だし……

でも私、君より年上で
もうおばさんよ……

それでも良いんです！

それでもいいの……？



もう、
こんな所でそんなこと言うなんて
ずるいわよ貴方……

キレイですか？



もうバカ、
大好きよ……



これからは恋人同士ね

彩乃……

こうして彩乃とのセフレとしての関係が意外と早く終わることになり、恋人としての関係が始まった。

でも交際は当面は周囲に秘密のまま、状況はセフレの時とあんまり変わっていないというのには苦笑いだ。

なお、可奈ちゃんにはばれてた。

そしてほぼ毎週末は……



いれてえ
早く貴方のオチンチン
ちょうだい……

もう我慢でき
ないのお……っ！

まったくエッチな女だ！
絶対に離さないから覚悟しとけ！

キユ・ニ♡

キユ・ニ♡

あんっ♡

おおっ♡

私だってもう離さない
んだからあつつつ！



ほら、
お望みのチンチンだ！

あああああんっ
んあああああんっ

ず
ぶ
う
...

にちゅ...

ア
...

ア
...

入ってくるぅ.....っ！



お……ちんちんっ、
お、奥まで、来てるう……
い、いいいいいっ……

ズンズン突いてえ

ピクッ

あぁっ♡

ブルッ

ブルッ

はっ♡

あっ♡

突いてえ
ズンズン突い
てえええええっっ！



はぁんっ、あんっ、あんっ
いい、気持ちいい……っ！

気持ちいいところ
こすれてるぅっっっ！



ひうんっあっ…… はあっ
んあっ、いい、いいっ
もっと、もっとおっっっっ！



彩乃っ!!!
出すぞ!
そろそろ出すぞっっっ!!!

来て、来て!
あたしもっ、
もうっ、だめっっっ!

イッちやうっ

イッちやうっ
うっっっっっっ!!!

あっ♡

うっっ♡

ん♡

ブルッ

ズン
ズン
グジュ
グジュ

ズン
ズン

ん♡

ん♡



うおあああああつっ！

あああああああつ

でてるっ、あああああ
あああああああつっ！

あ、♡

あ、♡

あ、♡

ブルッ

ビクッ

ビクッ

アッ

アッ

ビョッ

ビョッ

ビョッ

あ、♡



ああすごい…… いっぱい……
ドクンドクン出てるぅ……
きもちいい……

ああ……♡

ああ♡

ああんっ……

ピクッ

ポルッ

ポルッ

ピクッ

ゴクン

ゴクン

ゴクン

ゴクン



はあ♡

ア♡

気持ち良かったよ彩乃
愛してるよ……

あん……
いっぱい出たね……

あふ……♡


キゅ♡

キゅ♡

私も、
愛してるわ……

どろっ

ぽたっ……



こんな甘々な生活が続いている。
そろそろプロポーズ
しようかと考えているが
どうやって切り出そうかと
作戦立案中だ。

END